

EA934-2

(エポキシ樹脂接着剤)

- 低温時における接着補修
- 短時間に接着したい箇所の接着
- 各種金属、ガラス、陶磁器、タイル、石材、コンクリート、プラスチック、木材、FRP、ゴム等の接着
- 本剤 100g (クリアー)
- 硬化剤 100g (クリアー)

概要

エポキシ樹脂を主成分とした低温硬化型接着剤です。

低い温度でも容易に反応硬化し、接着力を発揮します。また湿潤面でも接着力を発揮します。硬化速度も比較的早く常温(25℃)で5~8分で固くなり始め、約30分で実用強度になります。硬化後は比較的柔らかい、いわゆる可撓性のある硬化物になりますので、耐衝撃性を必要とする箇所の接着補修にも威力を発揮します。

特徴

- ❶ 低温硬化性に優れており、-5℃でも硬化が可能です。
- ❷ 湿潤面でも接着力を発揮します。
- ❸ 強力な接着力をもっています。
- ❹ 硬化後は耐衝撃性に優れた可撓性のある硬化物になります。
- ❺ 硬化時にはほとんど収縮しませんので、充填接着に高い効果を発揮します。
- ❻ 耐水性、耐油性、耐薬品性に優れています。
- ❼ 本剤と硬化剤を目分量で同量づつとりだし混合する目分量等量混合型ですので混合作業が楽にできます。

主な用途

- ❶ 低温硬化性が良好ですので低温時における接着補修。
- ❷ 硬化物は可撓性がありますので耐衝撃性を必要とする箇所の接着補修。
- ❸ 各種金属、ガラス、陶磁器、タイル、石材、コンクリート、プラスチック、木材、FRP、ゴム等の接着。

性状および特性

	本剤	硬化剤	
外觀	淡黄色ペースト状	灰色ペースト状	
比重	1.25±0.05	1.08±0.05	比重カップ・25℃
粘度	98000	42000	CP
配合比	1(本剤)：1(硬化剤)		容量比
可使用時間	5～8分		混合量約5g・25℃
せん断接着力	100～120kg/cm ²		鉄/鉄
硬化	70～80		ショアD

●低温硬化性

硬化温度	ゲル化時間	硬化時間
-5℃	約5時間	3日間
0℃	約3時間	2日間
5℃	約2時間	20時間
10℃	約1時間	12時間
25℃	約5分	30分

使用方法

①表面処理

接着面の水分、油分、錆、その他の汚れをきれいに取り除いてください。錆はサンドペーパーなどで、油分はシンナーなどで落としてください。

②混 合

本剤(スリーボンド2004)と硬化剤(スリーボンド2105C)の配合比(容量比は100:50～55、重量比は100:32～40)。規定の配合比でよくかき混ぜてください。

③塗 布

混合したものを配管のネジ部に塗布してください。

④硬 化

混合された樹脂は化学反応により固くなりますので早目(20～25℃でおおよそ50～60分以内)に使用してください。

取扱上の注意

- ① 不正確な配合や不十分な混合は硬化不良の原因となります。
- ② 通常配管接続後、24時間経ってから通水してください。特に気温の低い冬季は硬化が遅れます。
- ③ 一度固まったものは使用できなくなりますので、使用する分量だけ混合してください。
- ④ 皮膚に付着した場合は、人によってはかぶれることがありますので石けん水で良く洗い落としクリームなどを塗ってください。
- ⑤ ポリエチレン、ポリプロピレン、フッ素樹脂、シリコン樹脂には接着しません。
- ⑥ 冷所に保管してください。

容量

スプリンクラー配管用・本剤(2004):1kg缶入
スプリンクラー配管用・硬化剤(2105C):500g缶入